

令和7年度退職教員の紹介

部局名	大学院教育学研究科・教育学部	
氏名	小国 喜弘	
職名	教授	
本学在職期間	平成23年4月～令和8年3月	
所属	教育学コース	
専門分野	日本教育史、インクルーシブ教育	
略歴	<p>1989年東京大学文学部国司学科卒業 1992年東京大学大学院教育学研究科修士課程修了 1996年東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学 1996年～1999年日本学術振興会特別研究員 1999年博士（教育学）取得 1999年～2001年成城大学文芸学部講師 2001年～2008年東京都立大学助教授（後、首都大学東京准教授） 2008年～2011年早稲田大学教育学部准教授・教授 2011年～東京大学大学院教育学研究科准教授 2013年～東京大学大学院教育学研究科教授 2025年～東京大学教育学部附属中等教育学校長兼務、現在に至る</p>	
研究内容	<p>1945年を画期とする戦後における日本の教育史の展開を、子どもの権利保障との関連に焦点をあてつつ研究してきました。例えば、中公新書『戦後教育史』、2023年。</p> <p>インクルーシブ教育については、1970年代の養護学校義務化反対運動に焦点を当てた編著『障害児の共生教育運動』（東京大学出版会）などを公刊しました。</p>	